

多機能型事業所みらい 令和元年度事業報告

【概況】

はじめに、法人全体として、中・長期計画を見直しながら、次期中・長期計画の策定をいたしました。高齢化が進む中、利用者様の意思をどのような形で受け入れ、実現できるのかということが一番の実施項目に挙がっています。

また、年度末（2月頃から）には新型コロナウイルスが蔓延し、高齢者の方の重篤率が高いといわれました。感染拡大防止のため、施設の中でもマスク着用、手洗い、消毒、換気などを義務付け、3密への対応に苦慮しながら、皆様に協力いただいております。また、様々なイベントや行事が中止となり、自主製品の販売先の閉店も相次ぎ、販売活動や売り上げに大きく影響を及ぼしました。

1. 利用者状況は生活介護事業 20 人、就労継続支援 B 型事業 22 人、合計 42 人でのスタートとなりました。出席率は、生活介護 93.19%、就労 B 型 91.35%、全体平均 92.27%となっています。月平均 38.7 人となりました。
2. 支援面では、利用者一人ひとりの体調把握、体力維持に努め、ご家族、支援センターと連携を図りながら、一人ひとりのニーズに沿った、楽しく安心して通える環境づくり、支援に努めました。
3. 生産活動では、生活介護事業の中心である箸置きが発注先の都合により 9 月、11 月、12 月に注文がなく、加えてコロナウイルス感染の影響により 2 月、3 月もなくなったことから、年間 823,020 円の売り上げに留まりました。就労 B 型事業も請負関係 1,508,770 円、内職の売り上げは 791,292 円、出店販売（出店先もコロナの影響により閉鎖相次ぐ）412,456 円、空き缶・古紙・カートリッジ回収（103,067 円）となり、利用者 1 人当たりの平均工賃月額は、就労 B 型 11,051 円、生活介護 5,399 円で、前年度比は就労 B 型で 1,008 円減、生活介護 104 円減となりました。

以上が概況ですが、各項目の詳細については後述のとおりです。

1. 利用者状況（令和 2 年 3 月 31 日現在）

（1）在籍状況

①生活介護	男性	16 人	女性	4 人	合計	20 人
②就労 B 型	男性	12 人	女性	10 人	合計	22 人

(2) 出席状況(各月初値)

①生活介護 240/240 (人) 年間在籍率 100% 出席率 93.19%
平均年齢 52 歳 1 ヶ月 (26 歳から 67 歳)

	4~3月	計
男性	16	192
女性	4	48
合計	20	240

*利用者の異動 なし

②就労B型 264/240 (人) 年間在籍者率 110% 出席率 91.35%
平均年齢 42 歳 4 ヶ月 (22 歳から 59 歳)

	4~3月	計
男性	12	144
女性	10	120
合計	22	264

*利用者の異動 なし

(3) 障害状況

①療育手帳

生活介護	
A	15
B 1	5
B 2	0
就労B型	
A	19
B 1	3
B 2	0

②身体障害者手帳

等級	生活介護	就労B型	計	部 位
1	0	0	0	
2	2	1	3	四肢・統合失調
3	4	2	6	音声・言語・そしゃく 内部機能
4	3	3	6	音声・言語・そしゃく
計	9	6	15	

③障害支援区分

区分	生活介護	就労B型	計
1	0	1	1
2	1	1	2
3	2	3	5
4	6	16	22
5	10	1	11
6	1	—	1
計	20	22	42
平均	4.40	3.68	4.04

2. 日課・週間プログラム

[日課]

午 前			午 後		
生活	08 : 45～09 : 45	登所・更衣 (1.2 便送迎)	生活	13 : 10～15 : 00	活動 (15分休憩含む)
B型			B型	13 : 00～15 : 15	活動 (10分休憩含む)
生活	09 : 45～10 : 00	朝礼・体操	生活	15 : 00～15 : 40	掃除・更衣
B型			B型	15 : 15～15 : 45	
生活	10 : 00～12 : 00	活動 (10～15分休憩含む)	生活	15 : 40～15 : 50	終 礼
B型			B型	15 : 45～15 : 50	
生活	11 : 45～13 : 00	昼食・休憩	生活	15 : 55～	降 所
B型	12 : 00～13 : 00		B型	15 : 55～	

※但し、水曜日午後のクラブ活動の際は、両事業とも活動時間を13:00からとした。

[週間プログラム] 例 (※グループにより活動内容は異なる)

	月	火	水	木	金
午 前	活 動	活 動	活 動	活 動	活 動
午 後	活 動	活 動	クラブ	活動/自治会	活 動

○第1～第4水曜午後…クラブ活動 ○第1木曜午後…自治会活動

3. 職員体制等

①生活介護事業

常勤職員：管理者(1) サービス管理責任者(1) 生活支援員(1)

非常勤職員：支援員補助(3) 事務員(1) 嘱託医(1) 看護職員(1) 管理栄養士(1)
運転手(2) 添乗員(2)

②就労B型事業

常勤職員：管理者(1) 主任・サービス管理責任者(1)

目標工賃達成指導員(1) 生活支援員(2)

非常勤職員：支援員補助(1) 事務員(1) 嘱託医(1) 管理栄養士(1)
運転手(2) 添乗員(2)

③両事業兼務

常勤職員(再掲)：管理者

非常勤職員(再掲)：事務員 嘱託医 看護職員 運転手 添乗員

業者委託：運転手(1) 添乗員(5) 調理師(1) 調理員(1)
管理栄養士(1)

4. 建物・設備維持管理

【定期】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
空調設備			11						10			
害虫駆除	8		13		7		7		12		13	
エレベータ	4			5			11			29		
自動扉	15			2			16			21		
消防設備			19						9			
電気		24		11		12		14		16		19
定期清掃		19				21						14

*表中の数字は、実施日

【その他】

- 4月18日 郵便ポスト取替工事
 - 6月17日 食堂テーブルゴムパッキン隙間コーキング作業
 - 6月28日 3階作業室空調内機吸込グリル取替工事
 - 8月29日 3階女子トイレ ウォシュレット取替工事
 - 8月30日 消化水槽 経年劣化による部品取替工事
 - 9月21日 事務所内ホワイトボード固定他修繕作業
 - 11月1日 消防用設備修繕工事
 - 11月11日 3階系統空調機修繕工事
 - 12月9日 屋外階段電灯用スイッチ修繕工事
 - 2月4日 3階外部階段証明器具修繕工事
 - 2月10日 3階男女トイレ フラッシュバルブ内部部品取替工事
- *設備管理業者：株式会社ビーエム大阪

5. 車両・送迎管理

[車両管理等]

- 4月 バス：3ヵ月点検
- 7月 ロング：6ヵ月点検、バス：3ヵ月点検
- 8月 ステップワゴン：6ヵ月点検
- 9月 サンバー、キャラバン：6ヶ月点検
- 10月 バス：3ヵ月点検
- 1月 ロング：車検、バス：3ヵ月点検
- 2月 ステップワゴン：1年点検
- 3月 キャラバン：車検

[修繕等]

- ① 4月 バス：パンク修理
- ② 6月 サンバー：クーラーガス点検、ステップワゴン：右ドアミラー修理
- ③ 7月 ロング：タイヤ交換
- ④ 9月 キャラバン：ガソリンメーター修理、リアランプ修理

[車両事故]

- ① 9月14日 キャラバン：原田ホーム玄関前駐車場、停車時に後方車両に接触しリアランプ破損。

*運転手の不注意によるものについては、運転手へ厳重注意すると共に、改善書の提出、職員会議の報告案件とするなど、注意喚起に努めた。

【送迎管理】

(1) 通常送迎

マイクロバス(29人乗り)：市内循環(豊中北部)・朝夕各1便

* (株)ジャパン・リリーフへ運転手請負業務として委託

キャラバン(9人乗り)：市内循環(豊中南部)・最寄駅(阪急曽根)
朝夕各2便

キャラバン

リース車(10人乗り)：市内循環(豊中南部)・最寄駅(阪急岡町)
朝夕各2便

ステップワゴン(8人乗り)：ホーム便(みずほ、栗ヶ丘、末広、原田)
朝夕各2便

*行事の際には特別ルート及び時刻表に基づいて運行した。

*ショートステイ送迎

あすなる 335回 みずほ・おおぞら 194回 豊泉家 77回

原田ホーム 20回 総計 626回

延べ利用人数は 200名であった。

(2) 特別送迎(通常送迎とは異なり、通院などが対象)

延べ利用者 93人 利用回数 138回

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	5	6	5	7	9	6	5	6	4	6	3	7
利用日数	11	18	12	19	19	10	7	7	7	11	5	12

6. 年行事等

月日	行事名	行先・場所	事業区分	特記事項
4/5	お花見	尼崎農業公園	生活介護	
4/8		猪名川公園	就労B型	
5/25	ふれ愛ひろば	原田小学校	両事業	
6/15	素のままフェスタ	アクア文化ホール	両事業	
6/20 ~21	一泊旅行	京都・滋賀方面	両事業	
7/5	社会見学	江崎グリコ	就労B型	
7/12		大阪府警本部	生活介護	
9/6	芸術鑑賞会	大阪文化館（ドラえもん展）	就労B型	
9/13		大阪市立科学館 （プラネタリウム）	生活介護	
11/15	グループ外出	京都太秦映画村	両事業	
11/22		京都鉄道博物館		
11/29		海遊館		
12/21	クリスマス会	みらい	両事業	
1/6	新年会	みらい	両事業	
1/10	新春ボウリング大会	ラウンドワン	両事業	
2/7	味覚狩り	フルーツファーム （カラット）	生活介護	
3/20	文化祭（中止）	開所日として施設での取 り組み	両事業	新型コロナウイルス 感染防止のため中止 となる（祝日）

7. クラブ活動等

(1) 開催内容(8 種目)

- ・リズム体操：月 2 回、講師：辻村恵美子
- ・美術：月 1 回、講師なし
- ・お茶：月 2 回、講師：中野典子
- ・習字：月 1 回、講師：森田和子
- ・音楽：月 2 回、講師：喜多真美
- ・お花：月 1 回、講師：大西和子
- ・スポーツ/ウォーキング：月 2 回、講師なし
- ・手芸：月 1 回、講師なし

(2) 障害者青年教室の活用

豊中市教育委員会の補助制度を活用。趣旨は生涯学習の視点から障害のある青年が常に生きる喜びを持ち、社会的教養の向上と自主性・社会性の養成を図ることが目的。1 講座 3 千円の補助。

補助対象 4 クラブ実績： 習字 11 回 96 人、お茶 24 回 248 人、
リズム体操 24 回 402 人、お花 12 回 85 人

8. 健康管理・給食

【健康管理】

- ・健康相談：月 2 回、希望者が嘱託医へ相談。両事業とも約 5 名ずつ受診している。相談を受けた内容、結果については連絡帳を通じて家族へ報告。
- ・健康診断：9 月、10 月に宮下医院で利用者 40 名が受診。
- ・予防接種：10 月、11 月に宮下医院で 33 名が受診。
- ・歯磨き指導講習会：5 月 29 日実施 参加者：41 人
講師：健康政策課 南野様 *豊中市出前講座を活用
- ・訪問歯科診療：委託業者（すまいる）
歯科医師 1 名、歯科衛生士 3～4 名
毎月（火曜日午前）4 回実施
24 名の方が受診。（延べ 960 名）

【給食】

- ・委託業者：ナフス株式会社
- ・給食会議：月 1 回開催、委託業者、管理栄養士、法人職員が参加し、毎月の献立について検食簿に基づき意見交換と確認を行う。
- ・嗜好調査：年 2 回実施(8 月・2 月)
調査結果を給食の献立や肥満対策に反映するよう努めた。
- ・食育講習会：年 2 回実施 (1 月)
第 1 回：令和 2 年 1 月 24 日

(参加者) 利用者・職員・食育担当者2名(ナフス)

(内容)「骨をつよくするには！」

骨を強くするための食べ物について、カードを使いクイズ形式で学んだ。

*今年度は委託業者(ナフス)との都合が合わず、食育の実施が1回となったが、昼食時のマナー(静かに食べる、ゆっくり食べる、よく噛んで食べるなど)は、毎日、利用者と確認し、取り組んでいる。

9. 防災

回	月日	内 容	参加人数	備 考
1	7/31	避難訓練	52	火災を想定
2	12/16	避難訓練	51	火災を想定 (通報訓練)
3	1/15	避難訓練	52	地震を想定 (通報訓練)
4	3/24	避難訓練	55	火災を想定 (散水栓の使い方)

- ・非常災害対策として、火災・地震を想定した避難訓練を行った。模擬のガラスや散乱物を作り、避難経路の確認や、動けなくなった利用者の搬送確認を行った。また、火災訓練では、消火用散水栓の使い方を学び、担架を実際に使ってみた。

10. 活動支援の取組み

(1) 生活介護事業

基本的な生活習慣の確立を支援すると共に、ゆとりと潤いのある生活を感じ取れるような支援に努めた。

- ① 利用者の体力やニーズなどを考慮した3グループに編成し、活動の提供を行うと共に、きめ細かな支援に努めたが、高齢化等により集中力の低下が見受けられるようになってきている。
- ② 高齢化や体力低下の進捗に対応するため、朝のラジオ体操や筋力トレーニング・ロコモ体操・ストレッチ体操、ウォーキング等で運動不足の解消や気分転換を図った。
- ③ 他の作業との兼ね合いや利用者の体力維持を中心にストレッチやダンスに取り組んだ。来年度からも利用者のニーズもあるため、他の作業の様子を見ながら、体を動かすことや週1回の自主製品づくりなど、利用者の興味を引き出す機会として取り組みを行っていく。

- ④ 作業は、はし豆、織り、内職（塩、ガードロック）など、利用者全員で取り組めるものが多く、一定の工賃収入に繋がった。

*令和元（平成 31）年度

生活介護売上総額 1,200 千円（前年度比 5%減）

内訳：はし豆 63.5%、自主製品 12%、内職 11.2%、
その他 13.2%（空缶回収含）

(2) 就労B型事業

利用者が生産する喜びや達成感が味わえるような、また就労に必要な能力や知識を得るための支援に努めた。

作業班は織り班が4名→6名、紙漉き班が7名→5名、内職屋外作業班が11名と前年度から少しの異動があった。毎月の事業会議で各作業班の利用者の様子や作業の進捗状況、課題などについて検討を重ね、可能な限り利用者の力が引き出せるように助言や自助具等を用いて自らに取り組むことを大切に考えて支援に努めた。

また、地域の方より、春と秋の2回、施設近くのガレージの草刈り作業を委託され、周りの車や家に配慮しながら取り組んだ。

社会技能訓練は年間3回実施した。1回目は手紙の書き方、出し方を学んだ。実際に暑中見舞いを自分で、ご家族やご親戚の方に宛てて書いていただき、ポストへ投函していただいた。2回目は図書館に行き、公共施設でのマナーについて学び、3回目は、公共交通機関を利用して出かけ、自分が欲しいものではなく、人に挙げるものを選んで買い物をする練習を行った。切符の買い方や電車内のすごしかた、現地での買い物の仕方などを学んだ。

*令和元（平成 31）年度

就労B型売上総額 2,917 千円（前年度比 2.93%減）

内訳：請負作業 51.71%、内職 27.12%、その他 21.17%

- ①豊中市障害者就労雇用支援センターとの連携の基で、下記の施設外作業に取り組んだ。

・堆肥袋詰め作業 緑と食品のリサイクルプラザ 2月20日

参加者：利用者10名、スタッフ3名

②社会技能訓練の実施

1回目：実施日 令和元年7月16日

テーマ 「はがきの書き方・出し方を学ぶ」

参加者 20名、スタッフ5名

2回目：実施日 令和元年12月13日

テーマ 「施設以外でのマナーを学ぶ」
 参加者 19名、スタッフ5名
 場 所 千里中央図書館
 3回目：実施日 令和2年2月14日
 テーマ 「公共交通機関の利用・買い物の仕方を学ぶ」
 参加者 利用者20名、スタッフ5名
 場 所 川西阪急

11. 広報・地域活動・実習

(1) 広報関係

【広報みらいの発行】

みらいの活動をご家族はもとより、広く関係機関や関係者に理解して頂くために、年4回発行した。

	号	発行日	部数
1	第52号	4/26	450
2	53	7/26	450
3	54	10/25	450
4	55	1/31	450

(2) 実習関係

稼働日数247日間に対して166日間の受け入れ（稼働日数の62.7%）
受け入れ日数は、前年度に比して約6.1%の減となっている。

所属団体	実習目的	人数(人)	日数(日)
大和大学	介護等体験	15	75
関西大学		12	60
神戸親和女子大学		1	5
東大阪大学		2	10
豊中市立第五中学校	職場体験	4	12
豊中施設長会	施設間留学	2	4
7団体		36	延166

*54日間の重複期間含む

12. 苦情対応

施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決をする窓口として、苦情受付担当者を2名配置。苦情は、意見箱をはじめ家族会の場や連絡帳等でも受け付けている。意見箱の開錠は自治会の場で利用者で行い、利用者には全体朝礼で回答している。

※第三者委員会

○第1回：令和元年9月24日（火）15：00～16：30

報告1件（令和元年3月～9月）

申出者	苦情内容要旨	対応
ご家族	<p>7月12日の社会見学（大阪府警）はご本人が犬と警察が苦手の理由で欠席され、3連休明けに母親より「行きたくない、職員を叩いたから、みらい辞める」と言っているので今週（19日）まで欠席しますと電話があった。</p> <p>6/28（金）職員を叩く</p> <p>7/12（金）社会見学（大阪府警）欠席～7月30日（火）12日間欠席</p>	<p>7/17(水)担当職員より自宅へ電話を入れご本人の体調が良ければお迎えに行きますと伝えましたが通所されなかった。</p> <p>7/19(金)管理者が電話を入れる。ご本人の日中の様子をお伺いし、休まれたきっかけについて伺う。</p> <p><要因></p> <p>外出参加（大阪府警）の不安 普段からの職員の声掛けに問題</p> <p>7/30 自宅訪問ご本人通所できた。</p>

* 苦情には当たらないが、事例として上から目線の対応は考えるべき。

○第2回：令和2年3月3日（火）15：00～16：00

報告3件（令和元年10月～令和2年3月）

申出者	苦情内容要旨	対応
匿名	<p>7/30 昼食提供時、事前に別メニューの申告することを忘れており、そのまま提供した。ご本人はそのままでは食べられず、対応していた職員は「食べへんかったら俺食べたろか」と本人に伝え、サビ管に「厨房に代替え食の準備を伝え忘れたわ」と話した。</p>	<p>その後も食べようとされなかったため、麺を取り出し、小鉢甘酢を絡めて提供、半量ほど食べられた。ご家庭に代替え食を準備できなかったこと、摂取量を伝え、謝罪。</p> <p>ご家族に次の献立表を確認いただくこととする。</p> <p>会議にて改善策、防止策、虐待防止について周知した。</p>

匿名 介護体験 実習生	日中活動時にふざけ合いながら、利用者を押している姿を目撃、あれはいいか?との意見。	虐待につながる意識の低さ、信頼関係の思い込み、日々の支援についての意識不足、職員間で注意し合う環境づくりの必要性など、会議にて意見交換を行った。
匿名	職員が仕事できていない利用者に対して、長時間叱責していた。	当該利用者、職員に事実確認。会議にて自身の支援について見直すこと、再発防止に努めるように周知した。

13. 職員研修・会議等

【職員研修】

- ・事業計画に基づき、特定の職員に偏らず、また人権関連から専門的研修まで幅広い分野を対象とした研修参加に努めた。

月 日	研 修 名 等	主 催	場所/会場	参加者
5月27日	特定給食施設等研修	中部保健センター	すこやかプラザ	梶川
6月3日	令和元年度 「労働セミナー」	大阪府社会福祉協議会	社会福祉会館	梶川
7月8日 7月23日	令和元年度 「障がい児者施設課程通所コース」	大阪府社会福祉協議会	大阪社会福祉会館	藤野
7月26日	法人全体研修 「コミュニケーション」	虐待防止委員会 研修委員会	第2みらい	全職員
8月20日 9月12日 9月13日	令和元年度 「大阪府サービス管理責任者基礎 研修」	大阪府社会福祉協議会	大阪国際交流センター 大阪社会福祉指導センター	松本
10月25日	法人全体研修 「事例検討」	虐待防止委員会 研修委員会	第2みらい	全職員
12月20日	法人全体研修 「成年後見制度」	虐待防止委員会	第2みらい	全職員
1月17日	法人全体研修 「高齢化に向けて」	虐待防止委員会 研修委員会	みらい	全職員
1月28日 2月25日	「アセスメントを活用した支援実践」	ライフサポート協会	住吉総合福祉センター	田中

2月9日	「施設と地域で取り組む高齢化対策」	自閉症eサービス	西宮市民会館	杉浦
2月12日	「高齢障害者支援の現状と課題について」	住吉区地域自立支援協議会	住吉区役所	岡部
2月24日	「フレームワークを活用した自閉症支援」	じらふ	住吉総合福祉センター	岡部

【会議等】

会議名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回（施設長・主任）
職員会議	12	毎月第1木曜日（施設長、職員）
ケース会議	24	毎月第2・4木曜日（施設長、職員）
生産活動推進会議	12	毎月第3木曜日（施設長、職員）
給食会議	12	毎月1回（施設長、担当職員）

*その他 所属長会議（施設長）、市内施設長会議（施設長）
 家族会7回
 各事業ミーティング12回、
 虐待防止委員会2回、
 事務局会議12回、研修委員会12回、マニュアル分科会12回
 第三者委員会2回